

自転車を楽しく安全に乗るために

自転車に乗る時に心がけたいこと

～ちばチャリ 三つの約束～

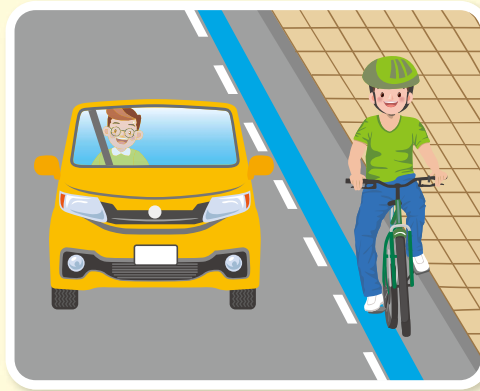


千葉市では、自転車に乗るみなさんに、心がけてほしいことを
～ちばチャリ 三つの約束～としてまとめました。ルールの方では
ありませんが、「まずはこれから」の気持ちで運転するようにしましょう!

1 歩いている人を大事にします



2 車道では左端を走ります



3 ライトを点けます



皆さんは、どれくらい知っていますか?

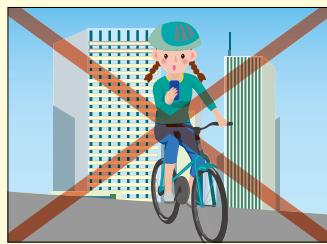
自転車の走り方のルール

～ちばチャリ 三つの約束～以外にも守らなければならない自転車の走り方のルールは、たくさんあります。

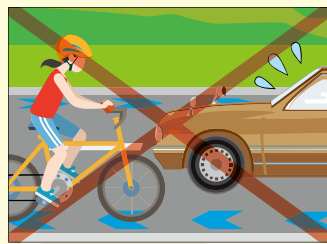
やってはいけないことは?



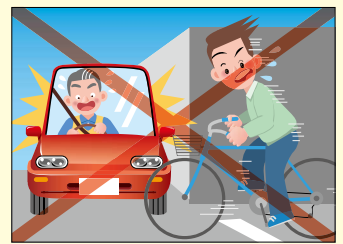
飲酒運転



「ながら」運転
(携帯電話の操作や傘差しなど)



逆走禁止



信号無視や交差点での飛び出し

※このほか、詳細は道路交通法や自転車安全利用五則などによります。

自転車は車両です!

車道通行が
原則ですが、
歩道を走ることが
できる場合もあります。

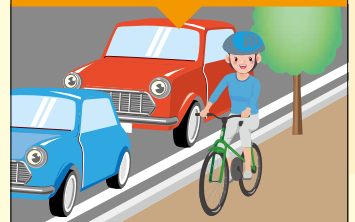
13歳未満の方、70歳以上の方や、
身体の不自由な方が走る場合



標識がある場合



車道を走ることが危険な場合
(駐車車両や道路工事など)



歩道を走るときは、歩行者優先で、車道寄りを徐行します。





自転車に乗る時はヘルメット



全国で令和4年中に自転車乗車中の事故で死亡した339人のうち、52.8%(179人)が頭部の損傷によるものです。

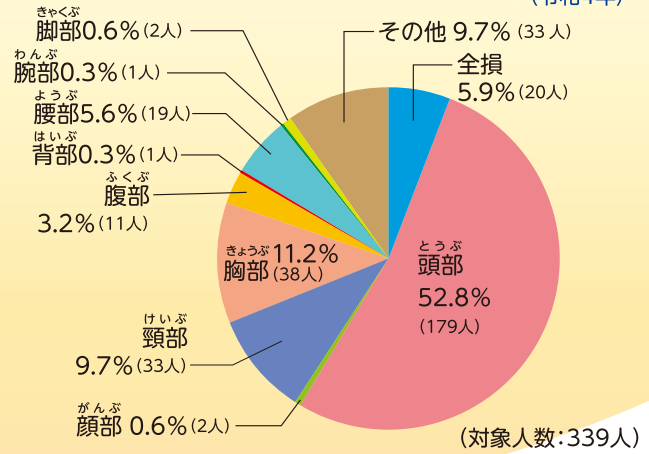
自転車乗車中の事故で頭部を損傷し死亡に至る割合は、ヘルメットを着用している場合だと、着用していない場合の1/4となる調査結果もあり、ヘルメットは死亡の危険性の低減に大きく貢献することが考えられます。

また、着用していても、事故の衝撃でヘルメットが離脱してしまえば、着用の効果は十分にあらわれないことも報告されており、あごひもを締めるなど、正しくかぶることが重要です。(※)

運転が未熟な子どもや身体機能が衰える高齢者のみならず、すべての人が自転車に乗る時は「ヘルメット」をきちんとかぶるようにしましょう!

※公益財団法人交通事故総合分析センター「交通事故分析レポート No.97(H24.11)」

●自転車乗車中の死亡事故の損傷部位別の人数と割合 (令和4年)



警察庁交通局「令和4年中の交通死亡事故の発生状況及び道路交通法違反取締り状況等について」

自転車に乗るすべての人にとってヘルメット着用は努力義務です。

自転車事故から大事な命を守るためヘルメットを着用しましょう。

事故に備えて～自転車保険等～

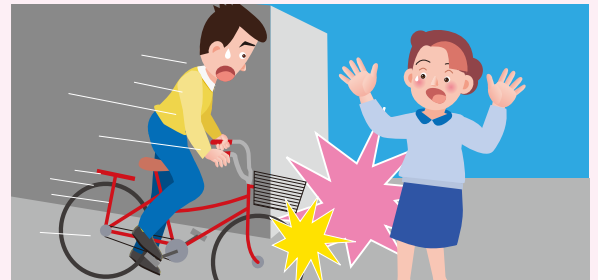
<自転車での加害事故例>

賠償額 9,521万円

小学生が自転車で走行している際に、歩行中の女性と正面衝突。女性は重い障害を負い、意識が戻らなかった。

(平成25年 神戸地裁判決)

近年、自転車による重大な事故が大きく取り上げられており、市内でも歩行者が死亡する事故が発生しているほか、全国では多額の賠償を命じる判決も発生しています。



自転車に関わる保険等の種類と内容

以下は、自転車に関わる保険等の主な例です。補償内容の詳細や保険料等は各保険を取り扱う保険会社などにお問い合わせください。なお、この表の「補償の対象」では、事故の相手方への補償内容(個人賠償責任保険)と併せて、ご自身のケガ等への補償内容(傷害保険)も示しています。

保険の種類	取扱い窓口	補償の対象	
		事故の相手方(個人賠償責任保険)	自分自身(傷害保険)
自転車向けの保険等(自転車保険等)		生命・身体・財産	生命・身体
各種保険の特約など	損害保険会社・カード会社など	生命・身体・財産 (個人賠償責任保険特約※がついている場合)	生命・身体 (傷害保険特約※がついている場合)
小中学生総合補償制度 高校生総合補償制度など	PTAや学校	生命・身体・財産	生命・身体
TSマーク付帯保険	自転車安全整備店	生命・身体	生命・身体

※特約の名称は、各会社により異なることがあります。

- このほか、各種の共済でも、類似の保険を取り扱っているものがあります。また携帯電話やインターネットで手軽に加入できるものもあります。
- TSマーク付帯保険は、自転車安全整備士が勤務する自転車店(自転車安全整備店)で自転車を整備するとついてくる保険で、補償の限度は最高で1億円、有効期限は1年間です。
お近くのお店は、公益財団法人日本交通管理技術協会のホームページ <https://www.tmt.or.jp/safety/index2.html> でご確認ください。
- 仕事中など、業務で自転車を使用中に起こした事故では、「個人賠償責任保険」では補償されません。
事業主が事業者用の賠償責任保険に加入するようにしましょう。